

大和市における小児救急医療体制

休日や夜間に急に具合が悪くなったら、まず大和市地域医療センターを受診しましょう。ここでは大和市内の開業医が交代で当番医をつとめ、急患の診療にあたっています。大和市における休日・夜間診療の第一の受け皿です。場所と電話番号と開いている時間帯を、事前に確かめておきましょう。

大和市地域医療センターで診療を受け、精密検査や入院の必要があるかもしれないと判断された場合は、大和市立病院をご紹介します。

大和市立病院は、平成29年4月から、入院が必要と思われるような小児の二次救急医療機関として、365日急病などの子どもたちを受け入れています。

また、地域医療センターが閉まっている時間帯の救急患者は、大和市立病院が受け入れます。

いま、緊急性が明らかでない方々が気軽にこれらの救急医療機関を利用する状況が問題となっています。このままでは、本当に医療が必要な重症患者の治療に支障をきたすことになってしまいます。

これらの救急医療機関は、休日や夜間に病気をしたときに対応する場所です。便利な時間外診療所ではありませんので、「平日は混んでいるから」「学校を休ませたくないから」などの理由で、気軽に利用することはお控えください。

また、休日や夜間の急な子どもの体調不良などで、医療機関を受診するのか迷ったときには、この「子ども救急パンフレット」や相談ダイヤル（「やまと24時間健康相談 ☎0120-244-810」等）を活用するなどして、不要不急の受診は控えるようにしましょう。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。